



日野中だより 11号  
発行：令和3年9月21日(火)  
文責：佐世保市立日野中学校  
校長 池田 美祐紀

校訓



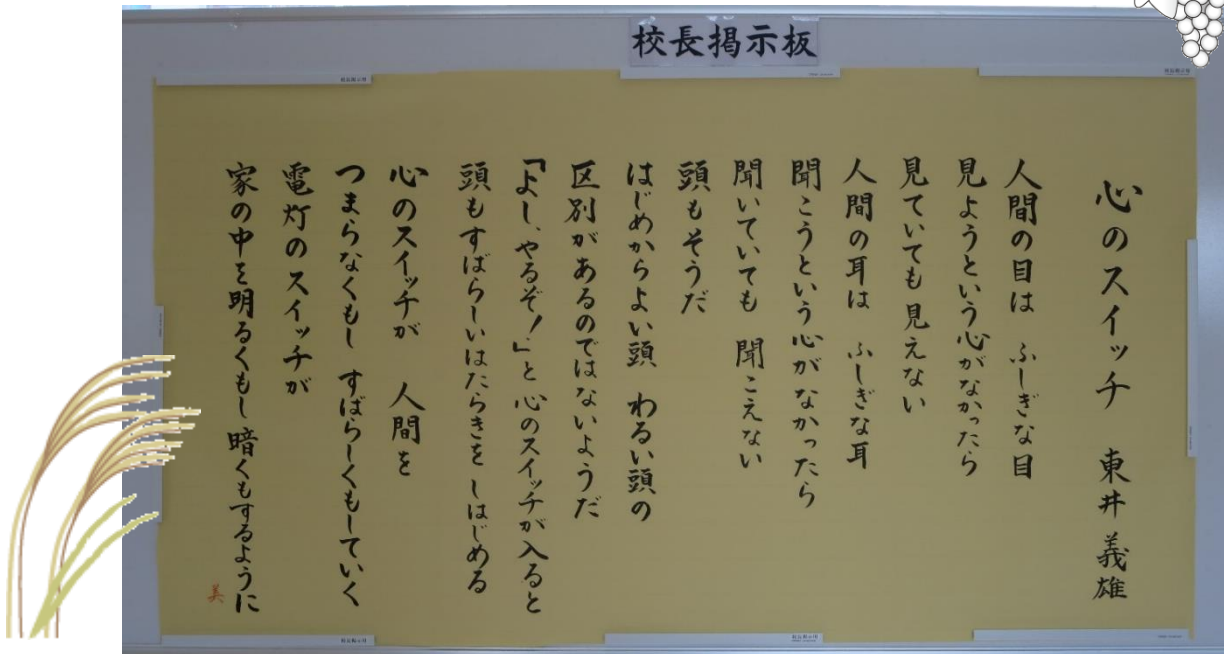
学校教育目標

心豊かで活力に満ちた生徒の育成

学びあい 認めあい 支えあい

心のスイッチを入れるのは自分！

—9月の「校長掲示板」より—



今月の校長掲示板の詩は、僧侶でもあった教育者の東井義雄氏の著書「自分を育てるのは自分」から「心のスイッチ」（一部抜粋）を選んでみました。東井氏は、この著書の中で、「人間は五千通りの可能性を持って生まれてくる。その可能性の中から、どんな自分を取り出していくか。皆さん一人一人がその責任者なんですよ。」と、自分が自分を育てていく責任者、自分を育てるのは自分であると述べています。

私は常々、生徒のみなさんに、“自分は気づいていないかもしれないけれど、うらやましい位の無限の可能性を持っている。目標に向かって、あきらめずに挑戦して行ってほしい。”というメッセージを伝えていますが、みなさんの目標達成のための取組、進捗状況はいかがでしょう。

もうすぐ、今年度も折り返し地点です。まだ、迷っている人は、是非この時期に、自分の心のスイッチをさがしてオンにしてください。



秋の全国交通安全運動が実施されます。

- 【実施期間】 令和3年9月21日(火)～9月30日(木)までの10日間  
※9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」
- 【重点項目】
  - 子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
  - 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上
  - 自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
  - 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

日没も少しずつ早くなってきました。私たち大人も交通安全を推進しましょう。特に、薄暮時は早めに車のライトを点灯し、歩行者や自転車の発見に努めましょう。



## 2年生職業講話

2年生の職場体験学習の代わりに、今年度は職業講話や介護体験活動を行っています。これまでに、ふわりのパンの藤永さんや永吉 PTA 会長さん等、保護者の方のご協力もいただき、お話をお聞きしました。職業講話は来月4日（予定）まで続きます。



## 敬老の日

昨日20日（月）は、敬老の日でした。長年、社会に尽くしてくれたお年寄りを敬い、長寿を祝う「敬老の日」は、日本独自の祝日です。昭和22年（1947年）兵庫県野間谷村（現多可町）で、農閑期の9月15日を「年寄りの日」と定め、行事を行ったのが始まりとされます。

日野中でも、1年生が高齢者の方にはがきを書きました。秋にふさわしいイラストに熱心に色を付けている姿を見ると、嬉しくなりました。回収に来られた担当者の方が、大変喜んで、何度もお礼を言って帰られました。一人暮らしの高齢者方も少なくなく、毎年楽しみにされているそうです。生徒のみなさんが心を込めて書いたお便り、今年も喜んでいただけるといいですね。



## 秋分の日

今週、23日（木）は秋分の日です。暦では秋の真ん中に当たります。春分と同じく、昼と夜の時間が等しくなり、太陽が真東から昇って、真西に沈む日です。秋分の日をはさむ前後3日、合計7日間のことを「彼岸」と呼びます。この時期に咲くため、その名がついたといわれる真っ赤な「彼岸花」は「曼珠沙華」とも呼ばれます。日野地区でも、見られますね。



## 今夜は中秋の名月(十五夜)

「中秋の名月」は十五夜とも言われ、この日は一年で最も美しいとされている月を鑑賞しながら、収穫の感謝や来年の豊作を願う行事となっています。平安貴族が中国の観月を取り入れたのが始まりで、庶民も十五夜を楽しむようになったのは江戸時代になってからとされています。

十五夜と言えば満月ですが、十五夜と満月は同日になるとは限りません。旧暦と現在の暦ですれが出るからだそうです。今年は、8年ぶりに十五夜と満月が重なり、今年から2023年までの3年間続くそうですが、これは珍しいパターンなのだそうです。

さて、今夜は雨予報となっていますが、十五夜は見られるでしょうか。年に一度の中秋の名月、見られるといいですね。でも、今夜見ることができなくても、約1ヶ月後に巡ってくる十三夜（今年は10月18日（月））や十四夜（今年は11月14日（日））にもお月見のチャンスがありそうですよ。

